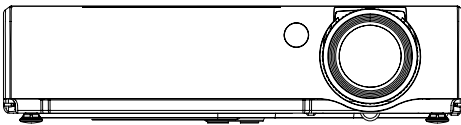


取扱説明書

品番 TH-LB60NT
TH-LB55NT



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書は、TH-LB60NT、TH-LB55NT共用の取扱説明書にしています。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4～9ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
付属品を確認する	10
ご使用になる前に	11
運搬上の留意点	11
設置に関する留意点	11
使用上の留意点	12
各部の名前と働き	13
本体前面・上面	13
本体後面・底面	14
接続端子部	15
本体操作部	16
リモコン	16

準備

設置する	18
設置方式	18
投写関係(TH-LB60NT)	19
投写距離(TH-LB60NT)	19
投写関係(TH-LB55NT)	20
投写距離(TH-LB55NT)	20
接続する	22
パソコン	22
AV機器	23
リモコンを準備する	25

基本の使い方

電源を入れて投写する	26
電源を切る	28

便利な機能

入力信号を選択する (INPUT SELECT /DIRECT INPUT SELECT)	30
位置を自動補正する (AUTO SETUP)	31
映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)	32
音量を調整する (VOLUME)	32
映像を拡大する (DIGITAL ZOOM)	33
2画面で表示する (INDEX WINDOW)	34
ポインタを表示する (POINTER)	35

調整・設定

オンスクリーンメニューについて	36
メニュー画面一覧	36
メニュー画面の操作方法	38
映像調整	40
位置調整	44
言語設定	48
本体設定	49
セキュリティ	54
ワイヤレス	56

点検・お手入れ

温度 (TEMP)、ランプ (LAMP) モニターが点灯したら	57
温度 (TEMP) モニター	57
ランプ (LAMP) モニター	58
エアフィルターの掃除・交換	59
掃除	59
交換	59
ランプの交換	60
ランプユニット交換上のお願い	60
ランプユニットの交換時期	60
ランプユニットの交換手順	61

その他

修理を依頼される前に	63
お掃除とお手入れ	64
仕様	65
付録	67
対応信号リスト	67
シリアル端子について	68
投写寸法の計算式	70
PC接続時のヘルプ画面について	71
保証とアフターサービス	72
外形寸法図	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

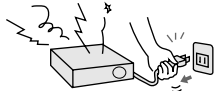


警告

- 煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- 天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。



警告

■使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

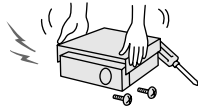
投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は電源プラグを抜いてください。

■カバー、ケースを外したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	<p style="text-align: center;">高圧注意</p> <p>サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。</p>
--	--

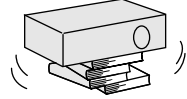
「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落したり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

■上に水などが入った容器を置かない



禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

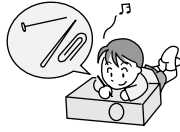


警告

■ 異物を入れない



禁止



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



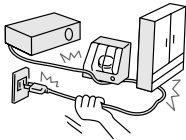
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

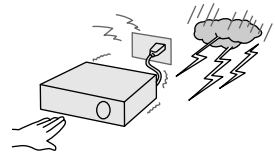
排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から15 cm以上離して設置してください。

■ 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ
禁止

火災・感電の原因となります。



警告

■風呂場、シャワー室では使用しない



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手
禁止



感電の原因となります。

■カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■単4形乾電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

飲み込むと窒息死の原因となります。

- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

■電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待つて)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

注意

■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります。

■ 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 指定以外の電池を使用しない



禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 上に重い物を置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

■ 長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約2 Wの電力を消費しています。

注意

■ ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない



散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■ 吸気孔や排気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

■ 本機に乗らない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

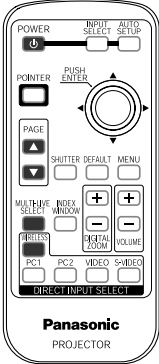
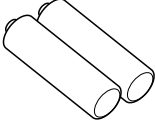

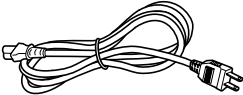

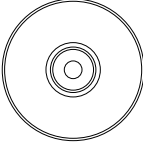

■ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグが簡単に手が届くようにする



異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。（本機を電源から完全に遮断するには電源プラグを抜く必要があります。）

付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。[]は、個数です。

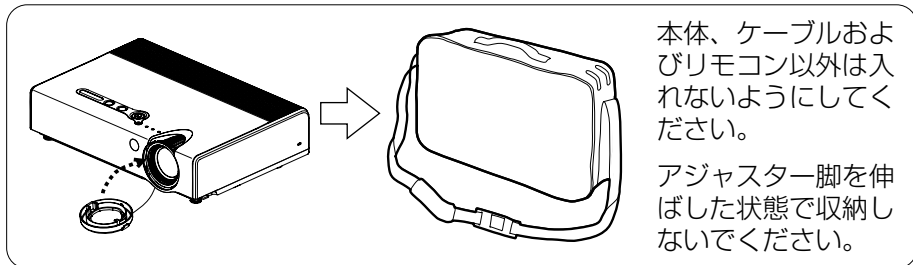
リモコン [1] (N2QAYA000001)	リモコン用単4形乾電池 [2]	RGB 信号ケーブル [1] (1.8 m VGA用、 K1HA15DA0002)
 <p>Panasonic PROJECTOR</p>		
	電源コード [1] (K2CA2DR00003)	キャリングバック [1] (TPEP019)
		
	CD-ROM [1] (TQBH9008)	無線国内注意ラベル [1] (TQFC926)
		

ご使用になる前に

運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズカバーを取り付けて、付属のキャリングバックを利用してください。

キャリングバックには、本体のレンズを上側にして収納してください。



本体、ケーブルおよびリモコン以外は入れないようにしてください。

アジャスター脚を伸ばした状態で収納しないでください。

設置に関する留意点

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

エアコンの吹き出し口の近くなど、温度変化が激しい場所に設置しないでください
ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

妨害を受ける場合があります。

本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

別売りの天つり金具(品番：ET-PKB30)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海拔1 400 m以上でのご使用に際しては、51ページの「高地設定」を「オン」に設定してください

そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

投写レンズは素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映ります。また本機を使用されないときは、レンズカバーをかぶせておいてください。

スクリーンについて

スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用や頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。交換時期や交換方法については60ページをご覧ください。

廃棄について

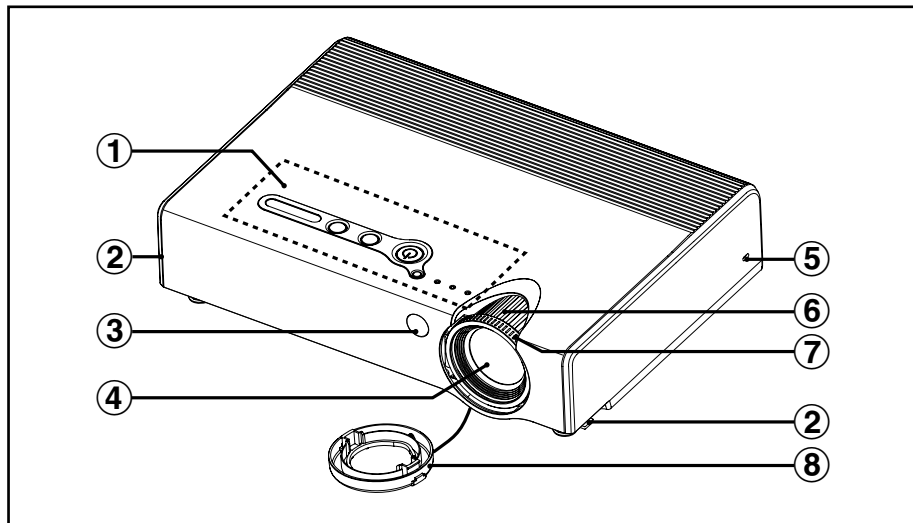
本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、付属の電源コードとシールドされたインターフェースケーブルを使用してください。プロジェクターの外部制御でシリアル端子を使ってパソコンに接続する場合は、別売りのフェライトコア付きRS-232Cシリアル端子変換アダプターを必ず使用してください。

各部の名前と働き

本体前面・上面



① 本体操作部

(☞ 16ページ)

② アジャスターボタン(左・右)

(☞ 27ページ)

本機底面の前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。

③ リモコン受光部

(☞ 25ページ)

④ 投写レンズ

⑤ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。問い合わせ先は以下の通りです。

**日本ボラデジタル株式会社
第3営業部**

〒104-0032
東京都中央区八丁堀1丁目5番2号
はごろもビル

Tel : 03-3537-1070

Fax : 03-3537-1071

※ 問い合わせ先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

⑥ ズームリング

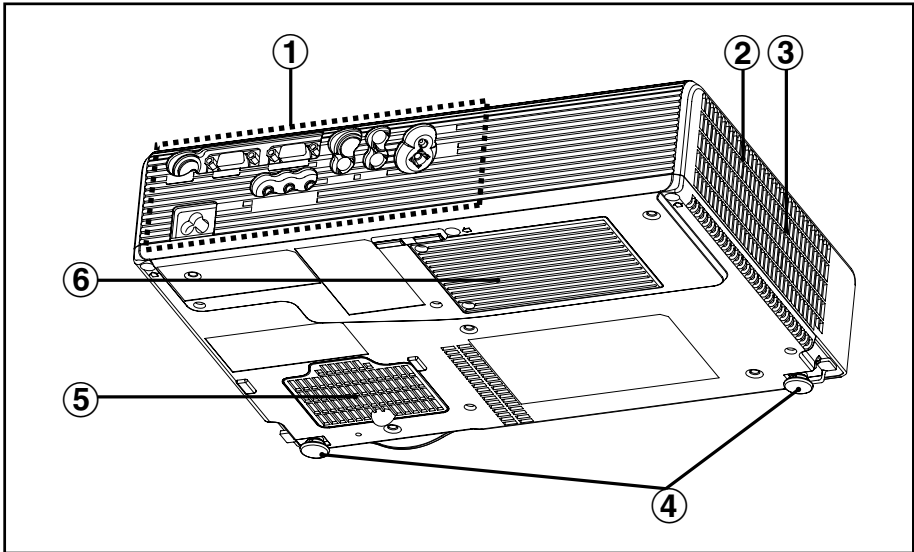
(☞ 27ページ)

⑦ フォーカスリング

(☞ 27ページ)

⑧ レンズカバー

本体後面・底面



- ① 接続端子部
([P.15](#)ページ)
- ② 排気孔
ふさがないようにしてください。
- ③ スピーカー
- ④ アジャスター脚(左・右)
([P.27](#)ページ)
- ⑤ 吸気孔、エアフィルター
([P.59](#)ページ)
ふさがないようにしてください。
- ⑥ ランプユニット収納部
([P.60](#)ページ)

警告

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

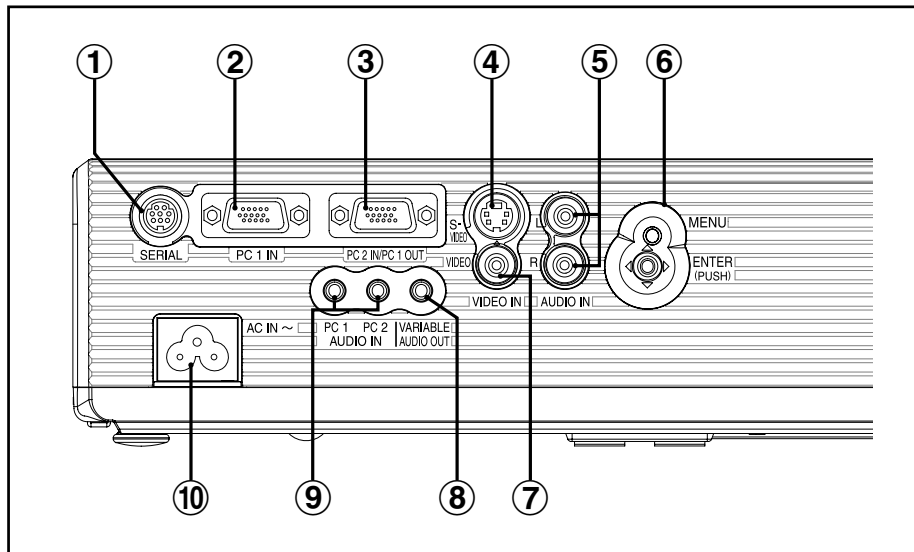
排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から15 cm以上離して設置してください。

お知らせ

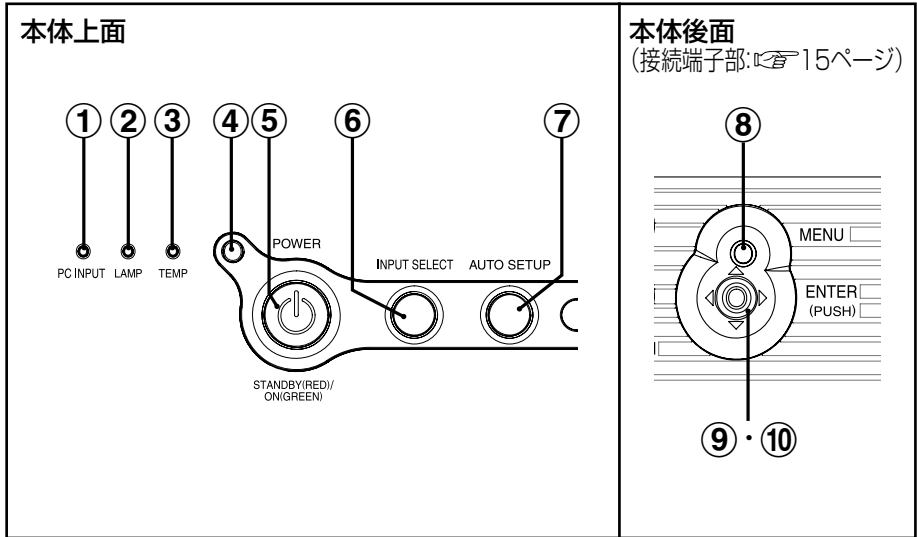
- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、外気温によって動作音が変わることがあります。ランプ点灯時や消灯時には、動作音が大きくなります。
- 「本体設定」メニューの「ランプパワー」を「エコモード」に設定すると、動作音が低減します。([P.50](#)ページ)

接続端子部

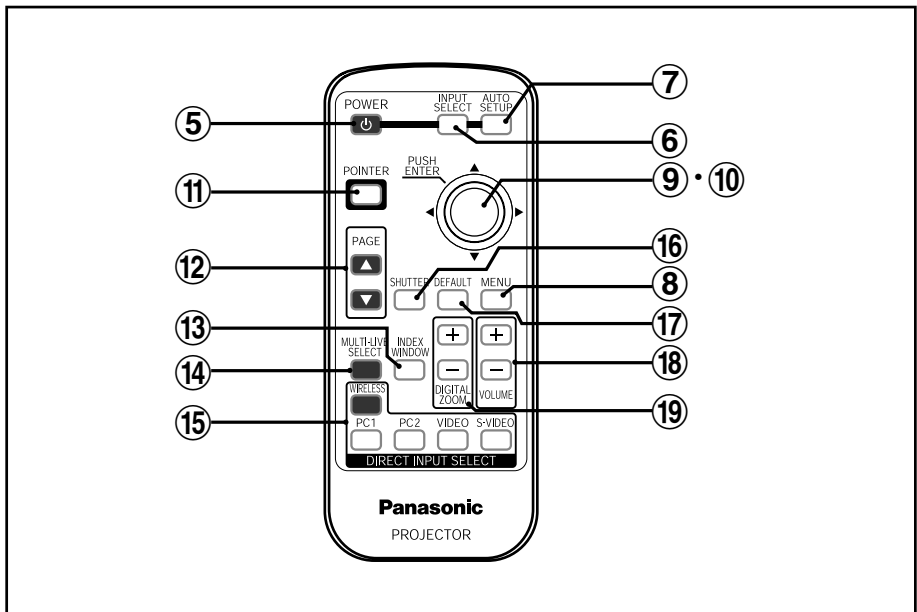


- ① シリアル (SERIAL) 端子
(☞ 22～24、68ページ)
パソコンから本機を制御するための端子です。(RS-232C準拠)
- ② パソコン1入力(PC1 IN) 端子
(☞ 22、23ページ)
RGB信号またはYP_BP_R信号を入力する端子です。
- ③ パソコン2入力/パソコン1出力(PC2 IN/PC1 OUT) 端子
(☞ 22、23、50ページ)
RGB信号またはYP_BP_R信号を入力出力する端子です。「本体設定」メニューの「PC2 入出力選択」で入出力の切り換えができます。
- ④ Sビデオ入力(S-VIDEO IN) 端子
(☞ 24、46ページ)
Sビデオ対応のDVDプレーヤーなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えます。
- ⑤ ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R) 端子
(☞ 22、24ページ)
- ⑥ 本体操作部(接続端子面)
(☞ 16ページ)
- ⑦ ビデオ入力(VIDEO IN) 端子
(☞ 24ページ)
ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。
- ⑧ 音声出力(VARIABLE AUDIO OUT) 端子
(☞ 22～24ページ)
本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- ⑨ パソコン1/パソコン2用音声入力(PC AUDIO IN) 端子
(☞ 22、23ページ)
- ⑩ AC入力(AC IN) 端子
(☞ 26ページ)
付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。

本体操作部



リモコン



- ① **PC入力(PC INPUT)モニター**
入力選択(INPUT SELECT)ボタンで選択したパソコン入力端子に、信号が入力されている場合に点灯します。
- ② **ランプ(LAMP)モニター** (☞ 58ページ)
ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ③ **温度(TEMP)モニター** (☞ 57ページ)
周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。
- ④ **照度センサー** (☞ 42ページ)
デイライトビュー動作時に明るさを検知します。本機の上に物を置いたり、本機を覆わないでください。
- ⑤ **電源(POWER)ボタン**
(☞ 26、28、29ページ)
スタンバイ状態時は赤色に点灯し、投写を開始すると緑色に点灯します。
- ⑥ **入力選択(INPUT SELECT)ボタン**
(☞ 27、30ページ)
投写する入力信号を選択します。
- ⑦ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン**
(☞ 27、31ページ)
RGB信号を入力時に映像を投写しながらこのボタンを押せば、「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動調整します。
- ⑧ **メニュー(MENU)ボタン**
(☞ 36、38ページ)
メインメニューを表示させます。メニューが表示されているときは、前の画面に戻したり、メニューを消せます。
- ⑨ **▲▼◀▶ボタン** (☞ 38ページ)
オンスクリーンメニューの項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行います。
- ⑩ **エンター(ENTER)ボタン**
(☞ 38ページ)
オンスクリーンメニューの項目を実行します。
- ⑪ **ポインタ(P POINTER)ボタン**
(☞ 35ページ)
ポインタを表示させます。
- ⑫ **ページ(PAGE)ボタン**
WIRELESS 入力信号を選択時に使用します。付属のCD-ROMをご覧ください。
- ⑬ **インデックスウィンドウ(INDEX WINDOW)ボタン** (☞ 34ページ)
静止画像と動画の2画面表示にすることができます。メニュー画面から操作する場合は52ページをご覧ください。
- ⑭ **マルチライブセレクト(MULTI-LIVE SELECT)ボタン**
WIRELESS 入力信号を選択時に使用します。付属のCD-ROMをご覧ください。
- ⑮ **ダイレクト入力選択(DIRECT INPUT SELECT)ボタン**
(☞ 27、30ページ)
ダイレクトに投写する入力信号を選択できます。
- ⑯ **シャッター(SHUTTER)ボタン**
(☞ 32ページ)
映像と音声を一時的に消すことができます。メニュー画面から操作する場合は52ページをご覧ください。
- ⑰ **デフォルト(DEFAULT)ボタン**
(☞ 39ページ)
調整値を工場出荷状態に戻します。
- ⑱ **音量(VOLUME +/-)ボタン**
(☞ 32ページ)
内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整します。メニュー画面から操作する場合は52ページをご覧ください。
- ⑲ **デジタルズーム(DIGITAL ZOOM +/-)ボタン**
(☞ 33ページ)
映像を拡大することができます。

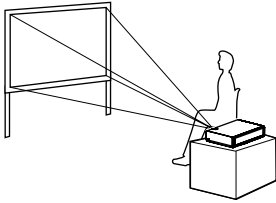
設置する

設置方法

本機は、下図の4通りの設置方法が選択可能です。ご使用に合わせて設置方法を選択してください。

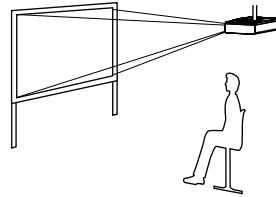
(設置方法の設定は「本体設定」メニューで行うことができます。P51ページ)

床置きで前方に投写する場合



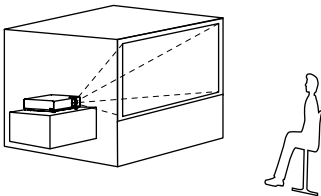
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント/床置き

天つり設置で前方に投写する場合



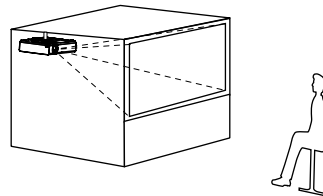
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント/天吊り

床置きで後方から投写する場合 (透過スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
設置方法	リア/床置き

天つり設置で後方から投写する場合 (透過スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
設置方法	リア/天吊り

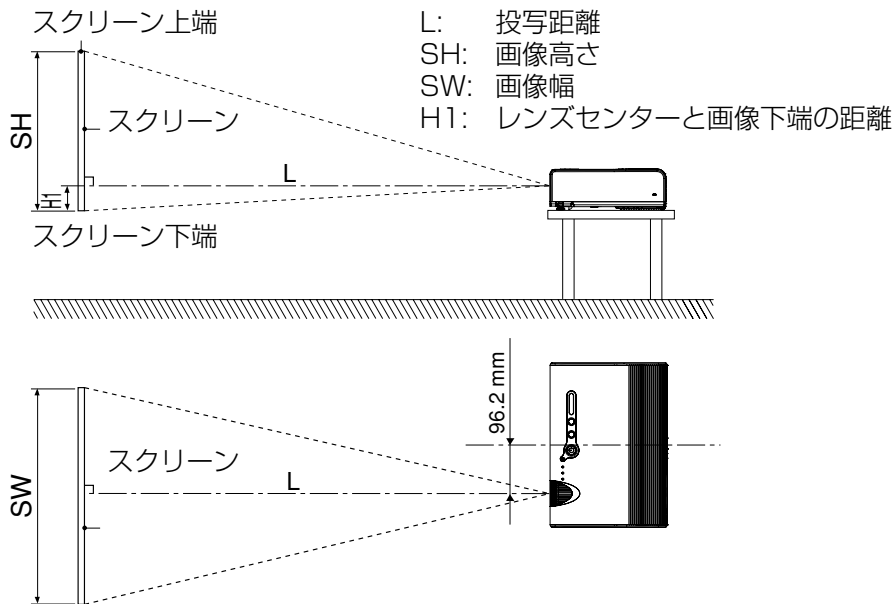
お知らせ

- 天つり設置には、別売りの天つり金具(ET-PKB30)が必要です。

お願い

- 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾ける場合は、前後±30度以上で設置しないでください。本機を前後±30度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

投写関係 (TH-LB60NT)



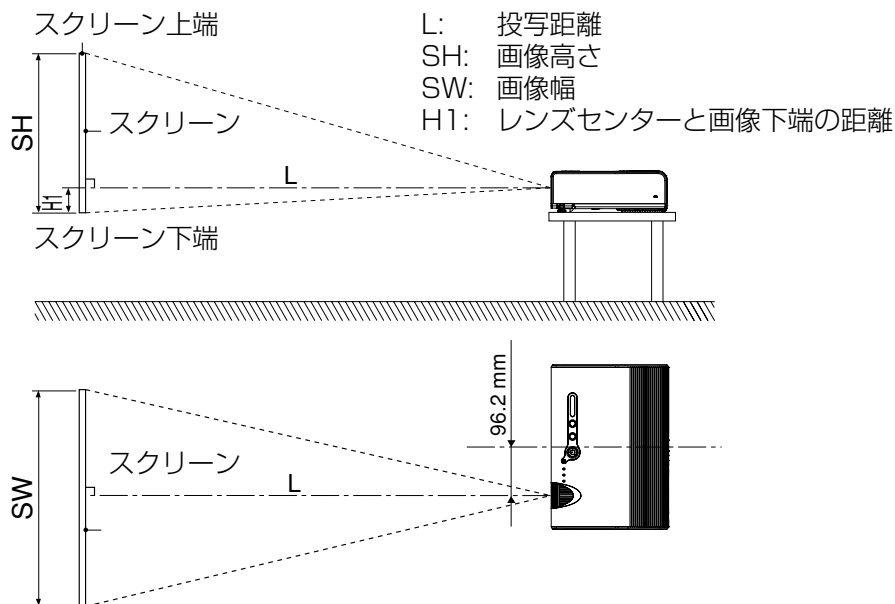
投写距離 (TH-LB60NT)

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)		高さ位置
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)	(H1)
33	0.50 m	0.67 m	—	1.1 m	0.07 m
40	0.61 m	0.81 m	1.2 m	1.4 m	0.08 m
50	0.76 m	1.02 m	1.5 m	1.7 m	0.11 m
60	0.91 m	1.22 m	1.8 m	2.1 m	0.13 m
70	1.07 m	1.42 m	2.1 m	2.5 m	0.15 m
80	1.22 m	1.63 m	2.4 m	2.8 m	0.17 m
90	1.37 m	1.83 m	2.7 m	3.2 m	0.19 m
100	1.52 m	2.03 m	3.0 m	3.5 m	0.21 m
120	1.82 m	2.44 m	3.6 m	4.3 m	0.32 m
150	2.29 m	3.05 m	4.6 m	5.4 m	0.25 m
200	3.05 m	4.06 m	6.1 m	7.2 m	0.42 m
250	3.81 m	5.08 m	7.6 m	9.0 m	0.53 m
300	4.57 m	6.10 m	9.1 m	10.8 m	0.63 m

お知らせ

- 上記の表の寸法は若干の誤差があります。
- 詳細な投写距離が必要な場合は、70ページをご覧ください。

投写関係 (TH-LB55NT)



投写距離 (TH-LB55NT)

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)		高さ位置 (H1)
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)	
33	0.50 m	0.67 m	—	1.2 m	0.05 m
40	0.61 m	0.81 m	1.4 m	1.5 m	0.06 m
50	0.76 m	1.02 m	1.7 m	1.9 m	0.07 m
60	0.91 m	1.22 m	2.0 m	2.3 m	0.09 m
70	1.07 m	1.42 m	2.4 m	2.7 m	0.10 m
80	1.22 m	1.63 m	2.7 m	3.1 m	0.12 m
90	1.37 m	1.83 m	3.0 m	3.5 m	0.13 m
100	1.52 m	2.03 m	3.4 m	4.0 m	0.15 m
120	1.82 m	2.44 m	4.1 m	4.8 m	0.18 m
150	2.29 m	3.05 m	5.1 m	6.0 m	0.22 m
200	3.05 m	4.06 m	6.8 m	8.0 m	0.30 m
250	3.81 m	5.08 m	8.4 m	10.0 m	0.37 m
300	4.57 m	6.10 m	10.1 m	12.0 m	0.44 m

お知らせ

- 上記の表の寸法は若干の誤差があります。
- 詳細な投写距離が必要な場合は、70ページをご覧ください。

接続する

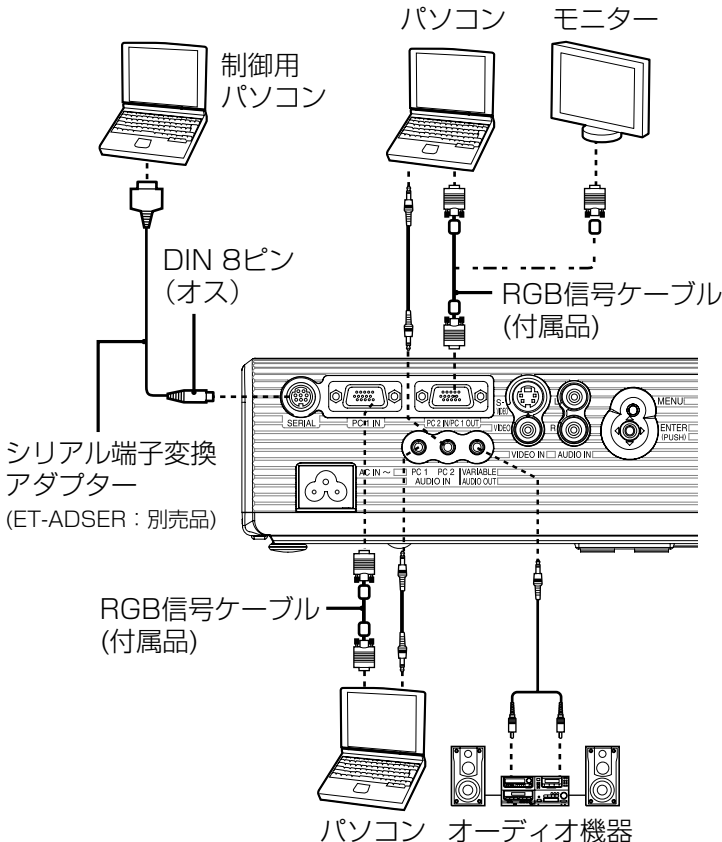
接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、67ページの対応信号リストをご覧ください。
- ビデオ/Sビデオ用音声入力端子 (AUDIO IN L-R) 端子は、1系統です。複数の機器を接続される場合は差し換えてご使用ください。

お知らせ

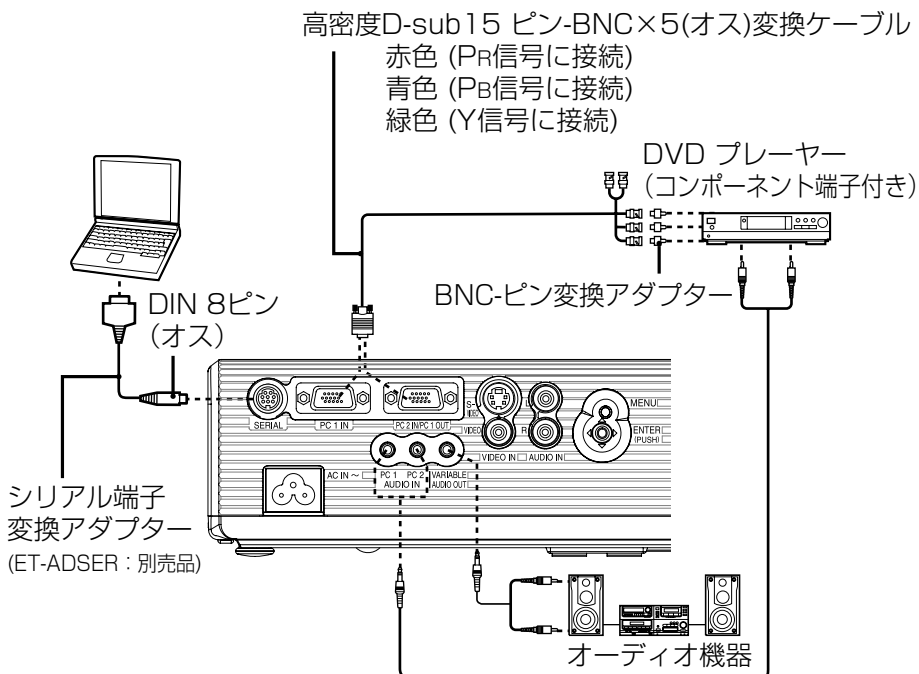
- 本機とパソコンとのワイヤレス通信については、付属のCD-ROMをご覧ください。

パソコン



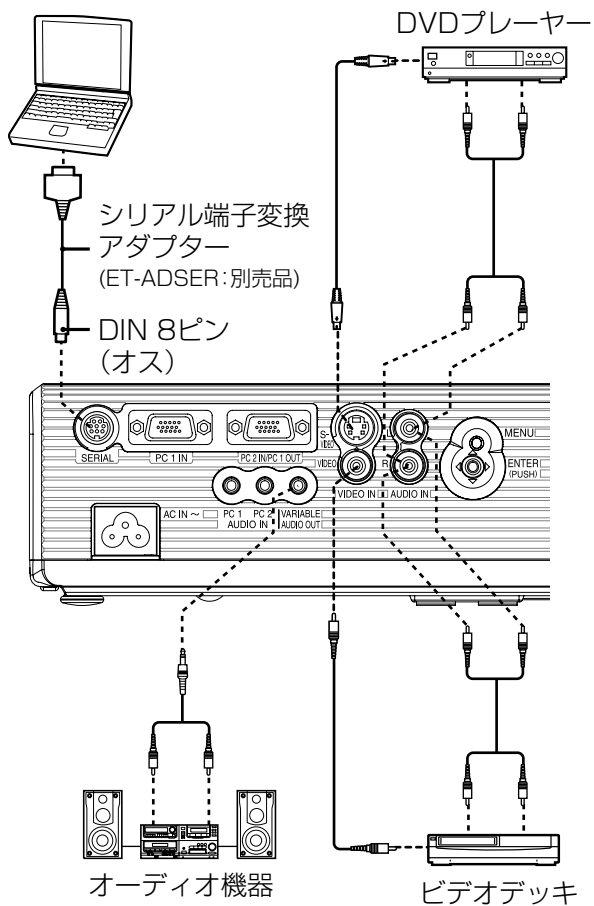
AV機器

準備



お知らせ

- 「本体設定」メニューの「PC2入出力選択」を「出力」に設定しているときは、パソコン2入力/パソコン1出力(PC2 IN/PC1 OUT)端子に信号を入力しないでください。(P.50ページ)

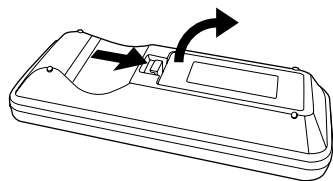


お知らせ

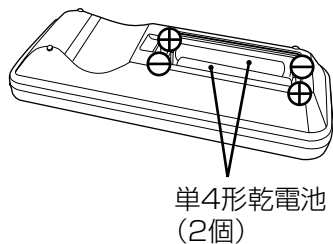
- 「デジタルズーム」と「インデックスウィンドウ」は、信号ケーブルを抜いたり、各機器の電源を切ると機能が解除されます。(P.33、34ページ)

リモコンを準備する

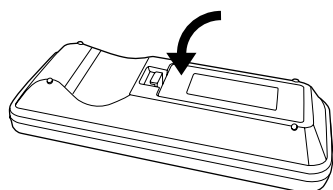
- ① 電池カバーを取り外す**
- 電池カバーのひっかけ部を押さえながら、上へ持ち上げます。



- ② 乾電池を入れる**
- 乾電池の向きは、必ず図に合わせてください。



- ③ 電池カバーを取り付ける**
- 「カチッ」と音がするまで、電池カバーのひっかけ部を押さえてください。



お願い

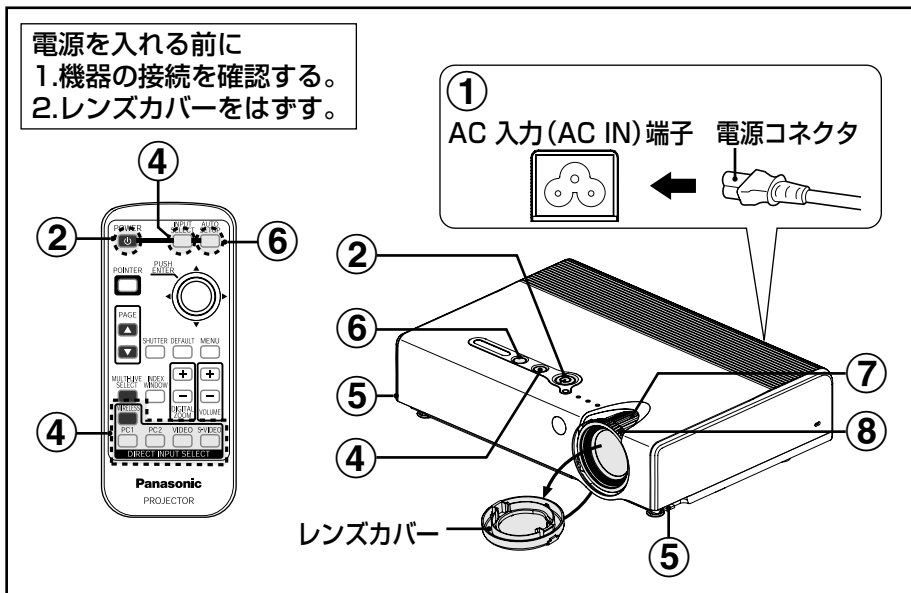
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- 充電式電池は使用しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接、本機の前面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。
- リモコンのボタンを押したままにしていると、電池の消耗が早くなります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、本機が誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- リモコンの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

電源を入れて投写する

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。



① 本機に電源コードを接続する

- 電源ボタンが赤色に点灯します。

- 本機のAC 入力(AC IN)端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込みます。その後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源コードは必ず本機付属のコードをご使用ください。

(POWER)

② 電源ボタンを押す

- 電源ボタンが緑色に点滅し、しばらくすると点滅から点灯に変わり、投写を開始します。
- スタートアップロゴが表示されます。スタートアップロゴを表示させたくないときは「本体設定」メニューの「スタートアップロゴ」を「オフ」に設定してください。(P.49ページ)

③ 接続機器の電源を入れる

- DVDプレイヤー等は、再生操作を行ってください。

お知らせ

- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がありますが、故障ではありません。

(INPUT SELECT)

(DIRECT INPUT SELECT)

④ 入力選択ボタンまたはダイレクト入力選択ボタンで、入力信号を選択する

- 選択した入力信号の映像が投写されます。(P.30ページ)
- 「本体設定」メニューの「入力検出」を「オン」に設定しているときは、自動的に入力信号を選択し、投写します。(P.51ページ)
 - 「本体設定」メニューの「入力ガイド」を「詳細表示」に設定し、本機が入力信号を検出できないときは、PC接続時のヘルプ画面が表示されます。(P.71ページ)
- 入力選択(INPUT SELECT)ボタンを押すと入力検出が終了します。

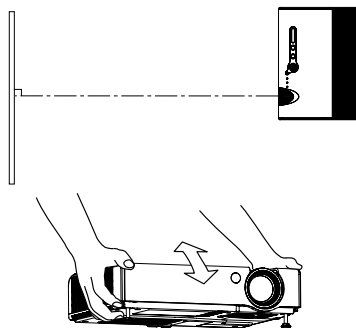
ダイレクトパワーオン機能

「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。(P.50ページ)

はじめて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、つづけて下記の調整を行ってください。

⑤ 投写角度を調整する

- 本機はスクリーンに対して垂直になるよう設置してください。
- アジャスターボタンを押しながら、上下に調整します。その後、投写映像がスクリーン中央にくるように調整してください。



(AUTO SETUP)

⑥ オートセットアップボタンを押す (RGB信号入力時)

- 自動的に映像の位置などを補正します。



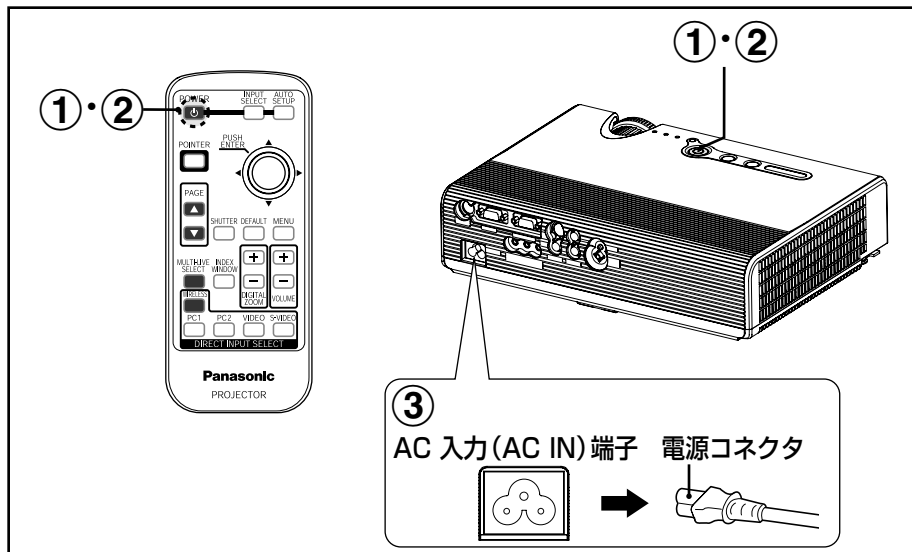
⑦ 投写サイズを調整する

- ズームリングを回して、調整します。

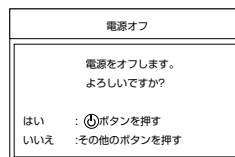
⑧ フォーカス (ピント) を調整する

- フォーカスリングを回して、調整します。

電源を切る



- (POWER)
- ① 電源ボタンを押す**
- 画面に電源オフ確認画面が表示されます。



- (POWER)
- ② もう一度電源ボタンを押す**
- ランプが消え映像の投写が停止します。
(冷却ファンは回転したまま、電源ボタンがオレンジ色に点灯します。)

- 電源(POWER)ボタン以外のボタンを押すか、約10秒たつと電源オフ確認画面が消えます。

- (POWER)
- ③ 電源ボタンが赤色に点灯したら、本機から電源コードを取り外す**

- コンセントから電源プラグを抜きます。その後、本機のAC入力 (AC IN)端子から電源コネクタを抜いてください。

お知らせ

- 電源(POWER)ボタンを0.5秒以上押ししても電源を切ることができます。

ダイレクトパワーオフ機能

本機は、内蔵電源を搭載しており電源プラグを抜いた状態でも冷却ファンが回転しランプの冷却を行いますので、映像を投写中や冷却ファンが回転中（電源ボタンがオレンジ色に点灯）に電源コードを取り外すことができます。

- 電源コードを接続した状態で冷却を行ったときよりランプが再点灯しにくくなる場合があります。
- 電源ボタンが点灯している間はキャリングバッグ等に入れないください。

電源ボタンについて

点灯状況		本機の状態
赤色	点灯	電源 (POWER) ボタンで映像投写可能なスタンバイ状態。
緑色	点滅	赤色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。（しばらくすると映像を投写します。）
	点灯	映像投写状態。
オレンジ色	点灯	電源オフ後、またはダイレクトパワーオフ動作中のランプの冷却状態。
	点滅	オレンジ色点灯中に電源をオンしたときの映像投写の準備状態。（しばらくすると映像を投写します。）

注意

■長時間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く

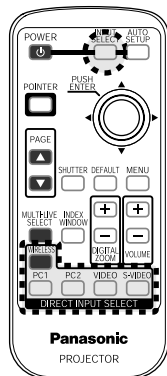


電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約2 Wの電力を消費しています。

入力信号を選択する (INPUT SELECT / DIRECT INPUT SELECT)

本機は入力選択(INPUT SELECT)ボタンとダイレクト入力選択(DIRECT INPUT SELECT)ボタンのどちらでも入力信号を選択することができます。



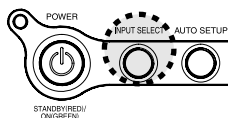
(INPUT SELECT)

入力選択ボタンを押す

● 下記の順で投写する入力信号を選択できます。

入力選択(INPUT SELECT)ボタン		切り換え動作
本体		<pre> graph LR PC1[PC1] --> PC2[PC2] PC2 --> SVIDEO[S-VIDEO] SVIDEO --> VIDEO[VIDEO] VIDEO --> WIRELESS[WIRELESS] WIRELESS --> PC1 </pre>
リモコン		

本体操作部



(DIRECT INPUT SELECT)

ダイレクト入力選択ボタンを押す

● 投写する入力信号をダイレクトに選択できます。

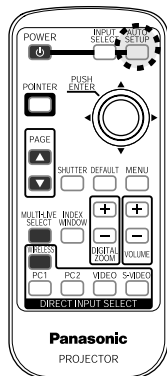
ダイレクト入力選択 (DIRECT INPUT SELECT) ボタン		切り換え動作
リモコン		パソコン1入力 (PC1) 端子に接続されている機器の信号を投写します。
		パソコン2入力 (PC2) 端子に接続されている機器の信号を投写します。
		Sビデオ入力 (S-VIDEO IN) 端子に接続されている機器の信号を投写します。
		ビデオ入力 (VIDEO IN) 端子に接続されている機器の信号を投写します。
		「ワイヤレス」メニューで設定した信号を投写します。(☞ 56ページ)

お知らせ

- 「本体設定」メニューの「PC2 入出力選択」を「出力」に設定しているときは、PC2 入力を選択することはできません。(☞ 50ページ)

位置を自動補正する (AUTO SETUP)

本機はRGB信号入力時、「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。

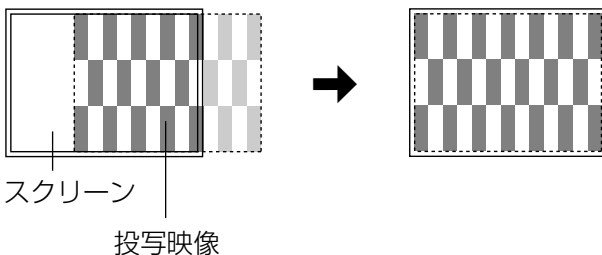


(AUTO SETUP)

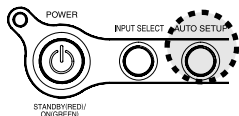
オートセットアップボタンを押す。

● 自動補正を行います。

RGB信号の映像を投写中にオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押してください。



本体操作部



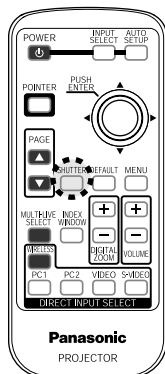
便利な機能

お知らせ

- 入力検出も実行されます。(「入力検出」を「オン」に設定時(☞51ページ))
- ドットクロック100 MHz以上の信号のとき、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は、自動設定されません。(☞45ページ)
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押してください。

映像・音声を一時的に消す (SHUTTER)

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。



(SHUTTER)

シャッターボタンを押す

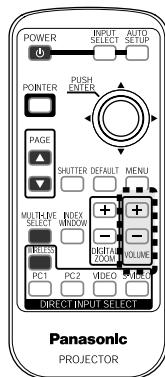
- 映像と音声が消えます。
- リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

お知らせ

- 「本体設定」メニューの「シャッター」でも動作させることができます。(☞52ページ)

音量を調整する (VOLUME)

リモコンの音量調整(VOLUME +/−)ボタンで、内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。



(VOLUME)

音量(+、-)ボタンを押す

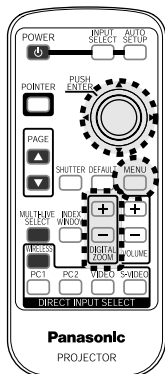
- +ボタン …音量大きくします。
- ボタン …音量小さくします。

お知らせ

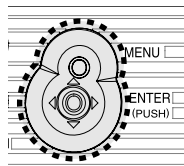
- 「本体設定」メニューの「音量」からも調整できます。(☞52ページ)

映像を拡大する (DIGITAL ZOOM)

デジタルズーム(DIGITAL ZOOM +/−)ボタンを使うことによって、入力画像を部分的に拡大して表示することや、拡大した表示部分を移動することができます。



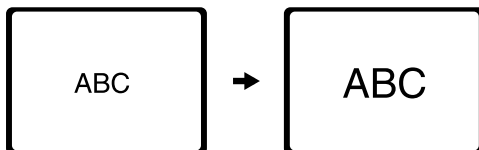
本体操作部
(接続端子部)



(DIGITAL ZOOM)

デジタルズーム(+、−)ボタンを押す

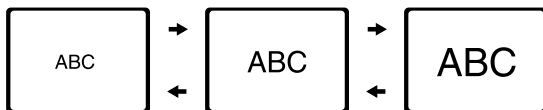
- 映像の中心を1.5倍に拡大した画面になります。
- メニュー (MENU) ボタンを押せば元に戻ります。



デジタルズーム中のボタン機能

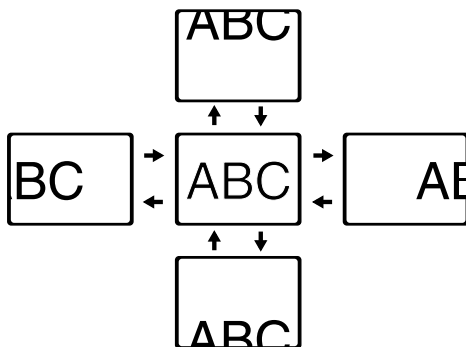
+ボタン ……倍率を高くします。

−ボタン ……倍率を低くします。



▲▼ボタン …上または下へ表示位置が移動します。

◀▶ボタン …左または右へ表示位置が移動します。



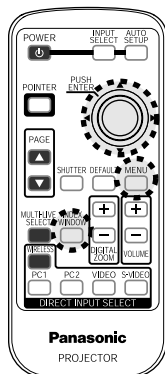
便利な機能

お知らせ

- 倍率は1.0倍から2.0倍まで0.1ごとに調整できます。RGB信号入力時で「位置調整」メニューの「フレームロック」が「オン」でない場合は、1.0倍から3.0倍まで調整できます。(P.47ページ)
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。

2画面で表示する (INDEX WINDOW)

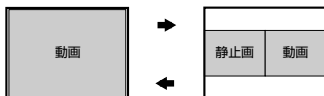
投写中の画像をメモリーに記録し、静止画と動画の2画面表示にすることができます。



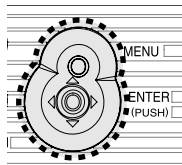
(INDEX WINDOW)

インデックスウィンドウボタンを押す

- インデックスウィンドウ(INDEX WINDOW)ボタンを押した時の画面が静止画になります。
- メニュー(MENU)ボタンを押せば元に戻ります。



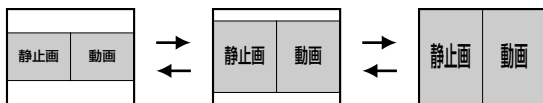
本体操作部
(接続端子部)



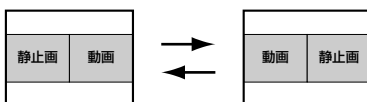
2画面表示中のボタン機能

▲▼ボタンで画面サイズを設定することができます。

3段階に切り換えることができます。



◀▶ボタンを押して左右の静止画と動画を切り換えることができます。



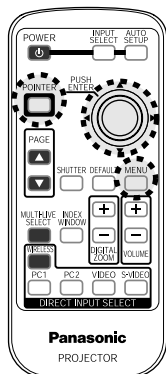
動画画面から静止画にしたい所でエンター(ENTER)ボタンを押すと、エンター(ENTER)ボタンを押したときの画面が静止画になります。

お知らせ

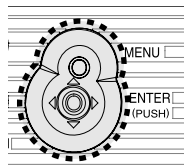
- 画面のアスペクト比が変わり、画像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。46ページの「アスペクト」の願いを十分理解した上でご使用ください。
- 「本体設定」メニューの「インデックス ダブル」でも動作させることができます。(P.52ページ)

ポインタを表示する (POINTER)

画面上にポインタを表示します。



本体操作部
(接続端子部)



(POINTER)

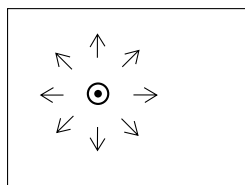
ポインタボタンを押す

- 画面の中心にポインタが表示されます。
- ポインタ(POINTER)ボタンを押せば元に戻ります。

ポインタ表示中のボタン機能

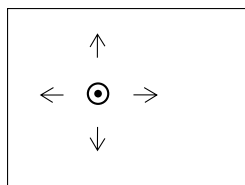
▲▼◀▶ ボタンを親指で押さえながら動かすと、画面上のポインタも図のように動きます。

リモコンの場合



カーソルを8方向に移動させることができます。

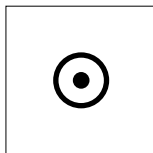
本体操作部の場合



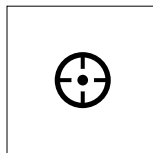
カーソルを4方向に移動させることができます。

「本体設定」メニューの「ポインタ選択」でポインタのデザインを選択できます。(P.49 ページ)

ポインタ1



ポインタ2



ポインタ3



お知らせ

- メニュー画面表示中はポインタ機能を使用できません。

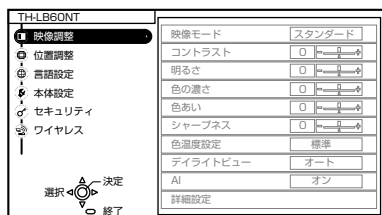
便利な機能

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

メインメニュー (ビデオ信号入力時)



メニュー (MENU) ボタンを押すとメインメニュー画面が表示されます。

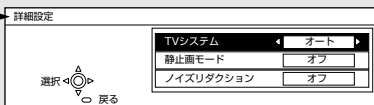
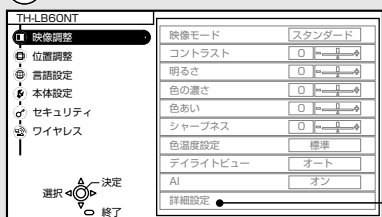
メニュー画面の操作方法については、38ページをご覧ください。

オンスクリーン項目について

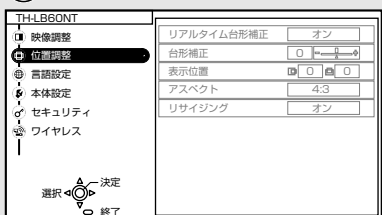
入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、カーソル選択できません。

- オンスクリーンメニューのイラストはTH-LB60NTのものを使用しております。

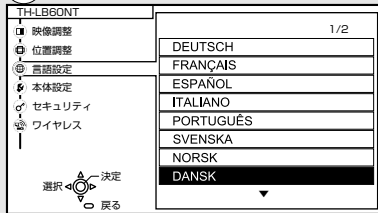
映像調整 (40ページ)



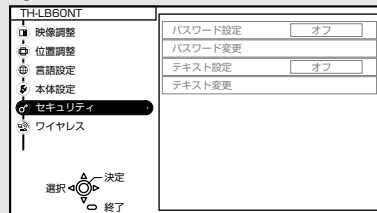
位置調整 (44ページ)



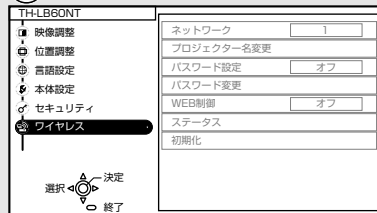
言語設定 (48ページ)



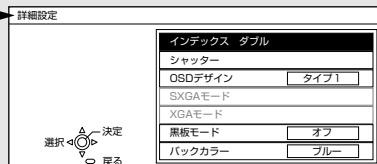
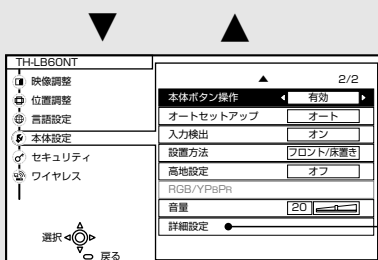
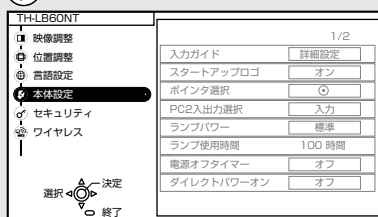
セキュリティ (54ページ)



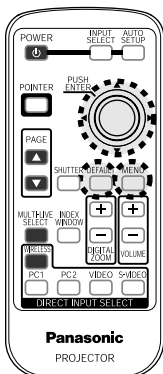
ワイヤレス (56ページ)



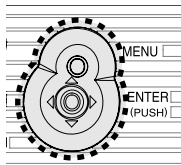
本体設定 (49ページ)



メニュー画面の操作方法



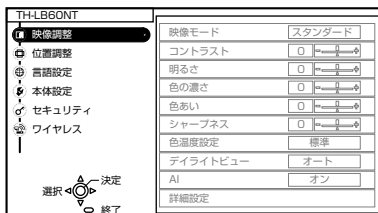
本体操作部
(接続端子部)



(MENU)

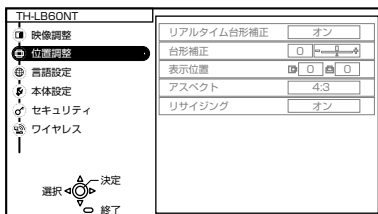
① メニューボタンを押す

- メインメニュー画面を表示します。



② ▲または▼ボタンを押してメインメニューから項目を選ぶ

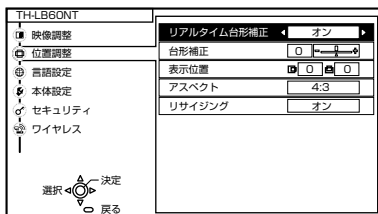
- 選択中の項目はオレンジ色で表示します。
- 選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。



(ENTER)

③ エンターボタンを押して決定する

- サブメニューの項目を選択できるようになります。



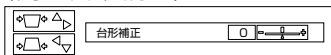
お知らせ

- メニュー画面が表示されている状態でメニュー (MENU) ボタンを押すと前の画面に戻ります。

④ ▲または▼ボタンを押して項目を選び、◀または▶を押して設定の切り換えを行う

映像調整と位置調整の項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目のみが表示されます。

(例：台形補正)

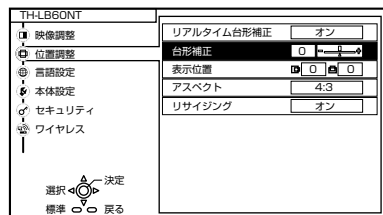


調整値が工場出荷状態以外になると、調整数値とバースケール内の調整マークが緑色になります。項目名のみの項目は、エンター(ENTER)ボタンを押して次の画面を表示させます。

調整値を工場出荷設定に戻す

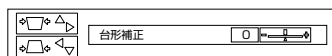
リモコンのデフォルト(DEFAULT)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

■ メニュー画面表示時



表示されているサブメニューの項目がすべて工場出荷時の状態に戻り、数値と数値を示すマークが白色表示になります。

■ 個別調整画面表示時

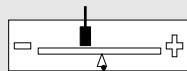


調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻り、数値と数値を示すマークが白色で表示されます。

お知らせ

- バースケールの下の三角マークは、工場出荷状態を示しています。三角マークが無い項目は、工場出荷状態に戻せません。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

現在の調整値を示しています。



工場出荷時の標準値を示しています。

映像調整

- ① メニュー(MENU)ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ② メインメニューから「映像調整」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す
- ③ サブメニューから▲▼ボタンで項目を選ぶ
- ④ ◀▶ボタンで調整する（メニュー画面が消え、選択された項目のみの調整画面が表示されます。）項目名のみはエンターボタンを押して、次の画面を表示させる

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像モード	スタンダード
コントラスト	0
明るさ	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	標準
デイライトビュー	オート
AI	オン
詳細設定	

YPbPr信号入力時

映像モード	スタンダード
コントラスト	0
明るさ	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
色温度設定	標準
デイライトビュー	オート
AI	オン
詳細設定	

RGB信号入力時

映像モード	ダイナミック
コントラスト	0
明るさ	0
シャープネス	0
色温度設定	標準
デイライトビュー	オート
AI	オン
詳細設定	

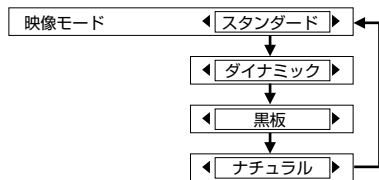
WIRELESS信号入力時

映像モード	ダイナミック
コントラスト	0
明るさ	0
シャープネス	0
色温度設定	標準
デイライトビュー	オート
AI	オン

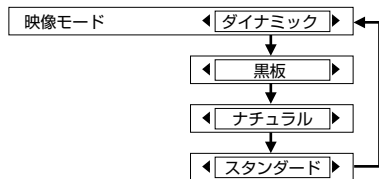
映像モード

映像ソースや視聴環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。

Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時



RGB/WIRELESS信号入力時



「スタンダード」 標準的な明るさで使用する場合に設定してください。

「ダイナミック」 明るい場所で使用する場合に設定してください。

「ナチュラル」 暗い部屋で使用する場合に設定してください。

「黒板」 黒板に投写される場合に設定してください。
「本体設定」メニューの「黒板モード」を「オフ」にすると表示されません。(P.53ページ)

コントラスト

色の明暗度を調整します。
(「明るさ」を先に調整してください。)

明るい場合： ◀ ボタン
暗い場合： ▶ ボタン

明るさ

画面の暗い部分(黒色)を調整します。

黒が浮いている場合： ◀ ボタン
黒がつぶれている場合： ▶ ボタン

色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時のみ)

色の濃さを調整します。

色が濃い場合： ◀ ボタン
色がうすい場合： ▶ ボタン

色あい

[Sビデオ/ビデオ
(NTSC/NTSC4.43)/YPbPr
信号入力時のみ]

肌色の部分を調整します。

緑色がかった色の場合： ◀ ボタン
赤紫色がかった色の場合： ▶ ボタン

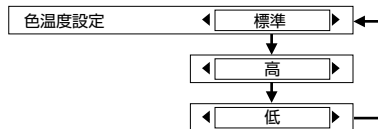
シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

やわらかい感じにしたい場合： ◀ ボタン
はっきりきわだたせる場合： ▶ ボタン

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。



「標準」 標準的な設定です。
「高」 映像の白色部分が赤みがかっている場合に設定してください。
「低」 映像の白色部分が青みがかっている場合に設定してください。

sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

- ① メニュー(MENU)ボタンを押し、メニュー画面を表示させ、▲▼ボタンで「映像調整」を選択してエンター(ENTER)ボタンを押す
- ② ▲▼ボタンを押し「映像モード」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する
- ③ デフォルト(DEFAULT)ボタンを押す
- ④ ▲▼ボタンを押し「色温度設定」を選択し、◀▶ボタンで「標準」に設定する

お知らせ

- RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。(「ランプパワー」を「標準」、「AI」を「オフ」、「ディスプレイレビュー」を「オフ」設定時)

デイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。



「オート」 室内照明に応じて映像の鮮やかさを補正します。

「オフ」 デイライトビューが無効になります。

お知らせ

- プロジェクターの上面に物を置きますと「オート」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「デイライトビュー」は「本体設定」の「設置方法」で「リア/床置き」または「リア/天吊り」を選択した場合は、設定できません。

AI

映像に合わせてランプ制御を行い、最適な映像を投写します。



「オン」 AIが有効になります。

「オフ」 AIが無効になります。

お知らせ

- ランプパワーを「エコモード」に設定するとAIは無効になります。
([P.50](#)ページ)

詳細設定

映像全体の画質を細かく調整できます。エンター（ENTER）ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。

ホワイトバランス 赤/緑/青

[RGB信号入力時のみ]

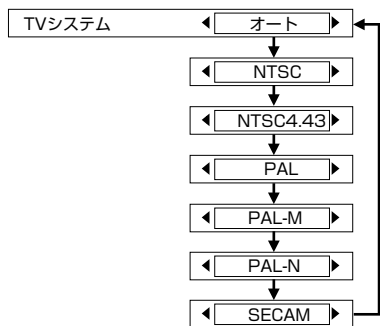
映像の白色部分に色がついているような場合に調整します。

ホワイトバランス 赤	0	◀ ▶
ホワイトバランス 緑	0	◀ ▶
ホワイトバランス 青	0	◀ ▶

選択した色を弱くしたい場合：◀ボタン
選択した色を強くしたい場合：▶ボタン

TVシステム

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]



通常は「オート」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

お知らせ

- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/PAL-M/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

静止画モード

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
静止画のちらつき（垂直方向のゆれ）をおさえたい場合に設定してください。



「オフ」 静止画モードが無効になります。通常はこの設定にしてください。

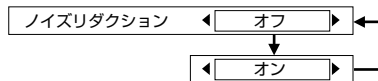
「オン」 静止画モードが有効になります。

お願い

- 動画をご覧になる場合は「オフ」に設定してください。

ノイズリダクション

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
入力された信号が劣化しているため、映像にノイズが発生している場合に切り換えます。



「オフ」 ノイズリダクション機能が無効になります。通常はこの設定にしてください。

「オン」 ノイズリダクション機能が有効になります。

位置調整

- ①メニュー (MENU) ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ②メインメニューから「位置調整」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
- ③サブメニューから▲▼ボタンで項目を選ぶ (RGB信号入力時は、まずオートセットアップボタンを押して自動調整を行ってください。自動調整を行っても最適な設定にならない場合は、メニュー調整を行ってください。)
- ④◀▶ボタンで調整する (メニュー画面が消え、選択された項目のみの調整画面が表示されます。)

Sビデオ/ビデオ信号入力時

リアルタイム台形補正	オン
台形補正	0
表示位置	0 0 0 0
アスペクト	4:3
リサイジング	オン

RGB/YPbPr信号入力時

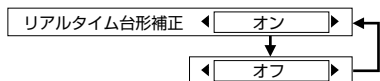
リアルタイム台形補正	オン
台形補正	0
表示位置	0 0 0 0
ドットクロック	0
クロックフェーズ	0
アスペクト	4:3
リサイジング	オン
フレームロック	オフ

WIRELESS信号入力時

リアルタイム台形補正	オン
台形補正	0

リアルタイム台形補正

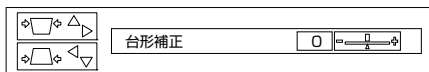
本機は、設置時の傾きを検知し自動的に台形ひずみを補正することができます。



- 「オン」 リアルタイム台形補正が有効になります。
- 「オフ」 リアルタイム台形補正が無効になります。

台形補正

本機には、設置時の傾きに合わせて自動的に台形ひずみを補正する機能 (リアルタイム台形補正) があります。微妙に傾けた場合やゆっくりと傾けた場合、またはスクリーンが傾いている場合は台形ひずみを正しく補正できない場合があります。このような場合はリアルタイム台形補正を「オフ」に設定して下の手順で手動で台形ひずみを補正してください。



縦方向のみ補正できます。

縦方向の台形補正	
操作	▲または▶ボタンを押す
縦方向の台形補正	
操作	▼または◀ボタンを押す

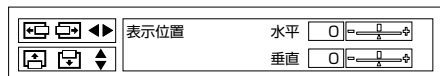
お知らせ

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して±30度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- メニュー画面は台形補正できません。
- 補正量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。
- リアルタイム台形補正が「オン」のままでも、手動で台形補正量を微調整することができます。但しこの場合、次に電源をオンしたとき本機の傾きが前回と異なる場合には、補正量は一旦リセットされ、もう一度リアルタイム台形補正が働きます。リアルタイム台形補正が「オフ」の場合は、電源をオフしても常に補正量は記憶されます。

表示位置

[Sビデオ/ビデオ/RGB/YPbPr信号入力時のみ]

映像の表示位置を移動させることができます。エンター(ENTER)ボタンを押して調整画面を表示させてください。



水平

水平画面位置を変更します。

映像を左に移動：◀ボタン

映像を右に移動：▶ボタン

垂直

垂直画面位置を変更します。

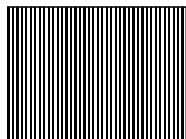
映像を上移動：▲ボタン

映像を下に移動：▼ボタン

ドットクロック

[RGB信号入力時のみ]

下記のような縞模様を投写した場合には、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合には◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



クロックフェーズ

[RGB/YPbPr信号入力時のみ]

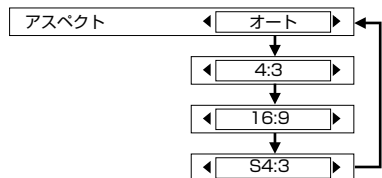
「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ

- ドットクロック周波数が100 MHz以上の信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくならない場合があります。

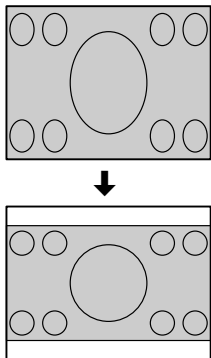
アスペクト

[Sビデオ/ビデオ/YPbPr (480i、576i、480p、576p) 信号入力時のみ] 投写映像の縦横比を変更することができます。



- 「オート」 Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。(Sビデオのみ)
- 「4:3」 入力された信号をそのまま投写します。
- 「16:9」 16:9に映像を圧縮して投写します。

入力信号がスクイーズ(横方向に圧縮された)信号の場合

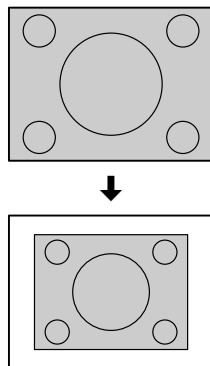


S1映像信号とは

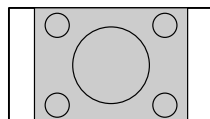
- S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- 上記の設定を「オート」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に16:9に変換して映像を投写します。

- 「S4:3」 入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です。)

入力信号が4:3信号の場合



16:9のスクリーンの場合



お願い

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- アスペクト比4:3の映像をアスペクト比16:9で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、アスペクト比4:3でご覧ください。

リサイジング

[Sビデオ/ビデオ/RGB/YPbPr信号入力時のみ]

入力信号の画素数が本機の液晶パネルの画素数より小さい場合の投写方法を設定します。(☞ 67ページ)



「オン」 入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して表示します。映像によっては見えづらくなる場合があります。

「オフ」 画素変換を行わず、映像信号の画素数をそのまま投写します。映像が小さく投写されますので、ズームを調整するか設置位置を前後させて調整してください。
また、「デジタルズーム」や「台形補正」、「リアルタイム台形補正」、「インデックスウィンドウ」などの操作ができなくなります。

お知らせ

- 通常は「オン」に設定してください。

フレームロック

[RGB信号入力時のみ]

一部のRGB信号の動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

(☞ 67ページ)



「オフ」 フレームロックが無効になります。

「オン」 フレームロックが有効になります。

言語設定

メニューで表示する言語を選択します。

- ① メニュー (MENU) ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ② メインメニューから「言語設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
- ③ サブメニューから▲▼ボタンで言語を選ぶ
- ④ エンター (ENTER) ボタンを押す

1/2
DEUTSCH
FRANÇAIS
ESPAÑOL
ITALIANO
PORTUGUÊS
SVENSKA
NORSK
DANSK
▼



▲	2/2
POLSKI	
ČESTINA	
MAGYAR	
РУССКИЙ	
ไทย	
한국어	
ENGLISH	
中文	
日本語	

設定している言語に表示されます。

本体設定

- ① メニュー (MENU) ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ② メインメニューから「本体設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
- ③ サブメニューから▲▼ボタンで項目を選ぶ
- ④ ◀▶ ボタンを押して設定を切り換える (項目名のみ項目はエンター (ENTER) ボタンを押して、次の画面を表示させてください。)

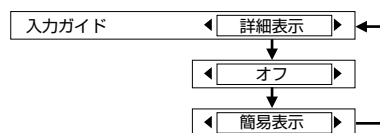
1/2	
入力ガイド	詳細設定
スタートアップロゴ	オン
ポインタ選択	○
PC2入出力選択	入力
ランプパワー	標準
ランプ使用時間	100 時間
電源オフタイマー	オフ
ダイレクトパワーオン	オフ



2/2	
本体ボタン操作	有効
オートセットアップ	オート
入力検出	オン
設置方法	フロント/床置き
高地設定	オフ
RGB/YPbPr	オート
音量	20
詳細設定	

入力ガイド

入力信号選択時に画面右上に表示する入力信号情報を設定します。



「詳細表示」 詳細な入力信号情報を表示します。

「オフ」 入力信号情報を表示しません。

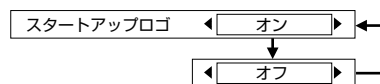
「簡易表示」 入力信号名のみ表示します。

お知らせ

- 「詳細表示」に設定したとき、パソコン1/パソコン2入力では信号が入力されていない場合、PC接続時のヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は「簡易表示」または「オフ」に設定してください。

スタートアップロゴ

電源オン時のPanasonicロゴの表示を設定します。



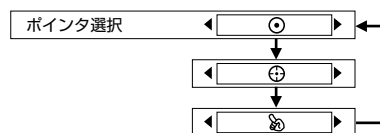
「オン」 電源オン時にロゴを表示します。

「オフ」 電源オン時にロゴを表示しません。

ポインタ選択

ポインタボタンを押した際に画面に表示されるポインタの形状を選択できます。

(35ページ)



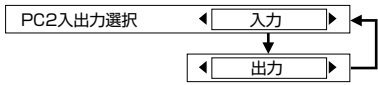
「○」 二重丸のポインタが表示されます。

「⊕」 丸に十字のポインタが表示されます。

「☞」 手のポインタが表示されます。

PC2入出力選択

パソコン2入力/パソコン1出力(PC2 IN/PC2 OUT)端子で信号を入力するか、出力するかを切り換えます。



「入力」 パソコン2入力(PC2 IN)端子に設定します。

「出力」 パソコン1出力(PC2 OUT)端子に設定します。

ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。



「標準」 高輝度の美しい映像をお楽しみいただけます。

「エコモード」 輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。

お知らせ

- 信号が入力されていない場合は、設定できません。
- 狭い会議室など高い輝度を必要としない場合や、映画などをご覧になる場合は「エコモード」に設定されることをおすすめします。

ランプ使用時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換する場合は、61ページのランプユニットの交換手順どおりに交換し、ランプ使用時間を「0」にしてください。

お知らせ

- ランプの寿命は使用条件(電源の入切の回数など)により変わります。

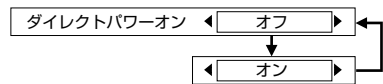
電源オフタイマー

設定時間まで信号が入力されないと自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

15分から60分まで5分間隔で設定できます。「電源オフタイマー」をご使用にならない場合は「オフ」に設定してください。

ダイレクトパワーオン

電源コードを接続したときの、本機の起動方法を設定します。

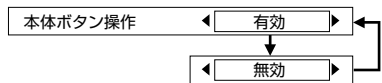


「オフ」 電源コードを接続すると、電源プラグを抜いたときの状態で起動します。前回、投写中に電源プラグを抜いた場合は、投写を開始します。

「オン」 電源コードを接続すると、投写が開始されます。

本体ボタン操作

16ページの本体操作部にあるボタン機能を無効にすることができます。



「有効」 本体ボタン操作が有効になります。

「無効」 本体ボタン操作が無効になります。「無効」に設定すると確認画面が表示されますので「はい」を選んでください。有効に戻したい場合は、リモコン操作で「有効」に設定してください。

オートセットアップ

通常は「オート」に設定してください。



「オート」 投写中の映像信号がRGB信号入力に切り換わったとき、オートセットアップを行います。

「ボタン」 オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押したときのみ、オートセットアップを行います。

入力検出

電源を入れた時とオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押した時に入力信号を検出し、自動的に入力選択することができます。(投写映像が無信号時のみ機能します。入力信号を投写中には自動的に切り換わりません。)



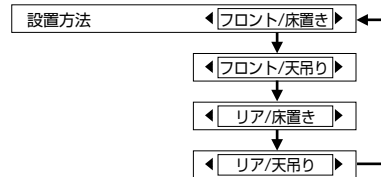
「オン」 入力検出します。通常は「オン」に設定してください。

「オフ」 入力検出しません。

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。

( 18ページ)



「フロント/床置き」 スクリーンの前方で机の上などに設置する場合。

「フロント/天吊り」 スクリーンの前方で天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合。

「リア/床置き」 透過式スクリーンを使用し、机の上などに設置する場合。

「リア/天吊り」 透過式スクリーンを使用し、天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合。

高地設定

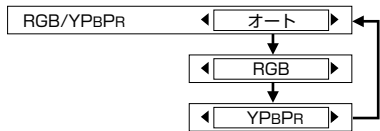
海拔1 400 m以上でのご使用の場合のみ、「オン」に設定してください。



RGB/YPbPr

[一部の信号入力時のみ有効となります。(VGA60, 480i, 576i, 480p, 576p, 1 080/60i, 1 080/50i, 720/60p)]

パソコン1入力(PC1 IN)端子とパソコン2入力/パソコン1出力(PC2 IN/PC2 OUT)端子に入力する信号を選択します。



「オート」 同期信号により、RGB/YPbPrを自動的に選択します。

「RGB」 RGB信号を入力するとき設定してください。

「YPbPr」 YPbPr信号を入力するとき設定してください。

お知らせ

- 通常は「オート」に設定してください。「オート」で正常に映らない場合は入力する信号に合わせて「RGB」「YPbPr」を設定してください。

音量

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。◀▶ ボタンで調整してください。

詳細設定

エンター (ENTER) ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。

インデックス ダブル

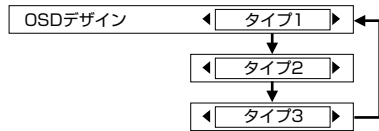
投写中の画像をメモリーに記録し、静止画と動画の2画面表示にすることができます。

シャッター

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消して、消費電力を少なくすることができます。

OSDデザイン

メニュー画面の背景を切り換えます。



「タイプ1」 半透明の黒色にします。

「タイプ2」 青色にします。

「タイプ3」 半透明の紺色にします。

SXGAモード

[RGB (SXGA) 信号入力時のみ]

SXGA信号を入力時に投射映像がスクリーンからはみ出す場合に切り換えます。



「SXGA」 通常この設定にしてください。

「SXGA+」 画面が切れている場合に設定してください。

XGAモード

[RGB (XGA) 信号入力時のみ]
XGA信号を入力時に投射映像がスクリーンからはみ出す場合に切り換えます。



「XGA」 通常この設定にしてください。

「WXGA」 画面が切れたり、縦方向に伸びて投写されている場合に設定してください。

黒板モード

「映像モード」から「黒板」を削除したい場合は「オフ」に設定してください。

(40ページ)



バックカラー

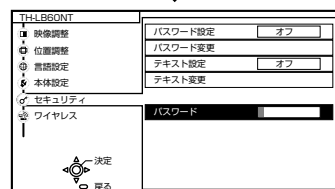
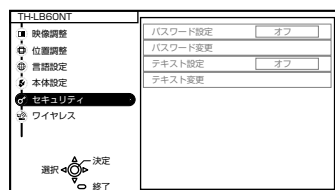
本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。



セキュリティ

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURL等を設定して表示させることができます。

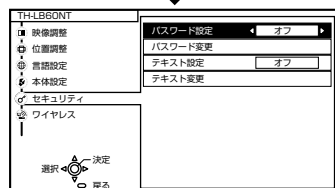
- ①メニュー (MENU) ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ②メインメニューから「セキュリティ」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す



(はじめてご使用になる場合)

▲▶▼◀▶▶▼◀ボタンを順に押し、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

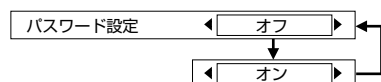
(以前にパスワードを変更された場合)
変更したパスワードを入力し、エンター (ENTER) ボタンを押してください。



- ③サブメニューから▲▼ボタンで項目を選ぶ
- ④◀▶ボタンを押して設定を切り換えてください

パスワード設定

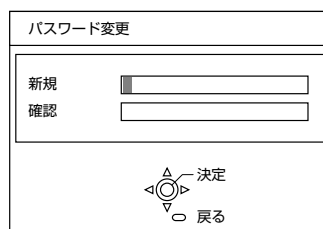
電源を入れた時にパスワード入力画面を表示させることができます。正しくパスワードを入力しない限り、電源 (POWER) ボタン以外の操作ができなくなります。



「オフ」パスワード入力を無効にします。
「オン」パスワード入力を有効にします。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。エンター (ENTER) ボタンを押してください。



- ①▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する (最大8つのボタンを設定できます。)
- ②エンター (ENTER) ボタンを押す
- ③確認のため、再度パスワードを入力する
- ④エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- パスワードを入力しても画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると画面上にエラーメッセージが表示されます。再度パスワードを入力してください。

テキスト設定

投写中の映像の下に設定した文字を常時表示させることができます。



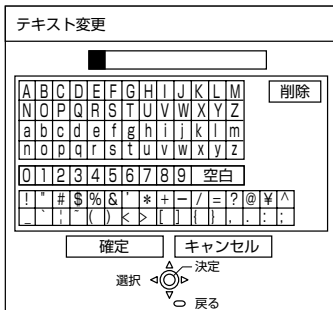
「オフ」 テキスト表示を無効にします。

「オン」 テキスト表示を有効にします。

テキスト変更

テキスト設定を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

エンター (ENTER) ボタンを押してください。



① ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す (22文字まで続けて入力することができます。)

- 「削除」を選べば、1文字消去することができます。

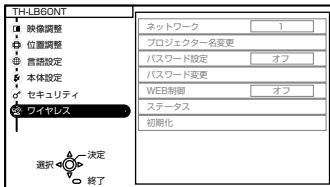
② ▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す

- 中止したい場合は「キャンセル」を選んでください。

ワイヤレス

パソコンとワイヤレス通信する場合に設定します。詳しくは、付属のCD-ROMをご覧ください。

- ①メニュー (MENU) ボタンを押してメニュー画面を表示する
- ②メインメニューから「ワイヤレス」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
- ③サブメニューから▲▼ボタンで項目を選ぶ
- ④◀▶ ボタンを押して設定を切り換える (項目名のための項目はエンターボタンを押して、次の画面を表示させてください。)



ネットワーク

ネットワーク設定を切り換えることができます。

プロジェクト名変更

本機のプロジェクト名を設定することができます。

パスワード設定

ワイヤレス通信時にパスワードの確認を行う場合は、「オン」に設定します。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。

WEB制御

ワイヤレス通信しているパソコンから本機を制御したい場合は「オン」に設定します。

ステータス

ワイヤレスの設定を表示します。

初期化

ワイヤレスの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

温度 (TEMP)、ランプ (LAMP) モニターが点灯したら

本機には内部の状態を知らせる温度 (TEMP) とランプ (LAMP) のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。

- 温度 (TEMP) モニター、ランプ (LAMP) モニターの表示により処置を行うときの電源操作は28ページの「電源を切る」の手順を必ずお守りください。

温度 (TEMP) モニター

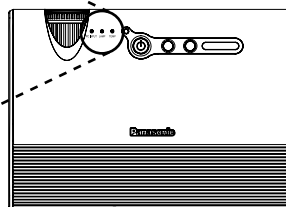
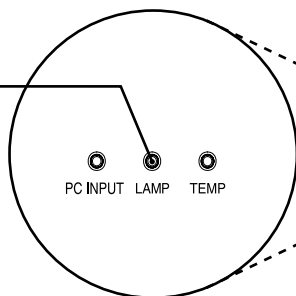
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
理由・ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> • 通風孔がふさがれていませんか。 • 気温の高いところで使用していませんか。 • エアークフィルタが目づまりしていませんか。 	
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> • 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 • 周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。[51ページの「高地設定」を「オン」に設定している場合は、周囲温度0℃～35℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。] • 28ページの手順で電源プラグを抜き、エアークフィルタの掃除(59ページ)を行ってください。 	

お願い

- 上記の処置をしても、温度 (TEMP) モニターが点滅し、電源が切れる場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

ランプ (LAMP) モニター

ランプ (LAMP)
モニター



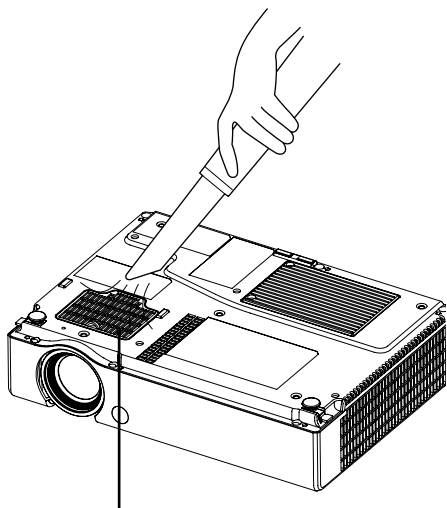
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅		
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している。		
理由・ここをお調べください	本機の電源を入れた時に「ランプを交換してください」というオンスクリーン表示がされていませんか。	電源を切つてからすぐに電源を入れなおしていませんか。	ランプが切れていませんか。	ランプ回路に異常が発生しています。
処置のしかた	ランプユニットの使用時間が1800時間(「ランプパワー」を「標準」、「A」を「オフ」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換(☞60ページ)を行ってください。	光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。	ランプユニットの交換(☞60ページ)を行ってください。	28ページの手順で電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

エアフィルターの掃除・交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点灯し、電源が切れます。電源が切れると温度(TEMP)モニターが点滅します。掃除は約100時間を目安に行ってください。

掃除

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



エアフィルターカバー

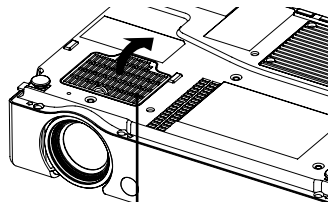
お知らせ

- 掃除機でほこりが取れない場合は、右記の手順でエアフィルターを取り外し、水につけて手でほこりを洗い流してください。(中性洗剤などは使用しないでください。)
また、乾燥させたあと、取り付けてください。
- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

交換

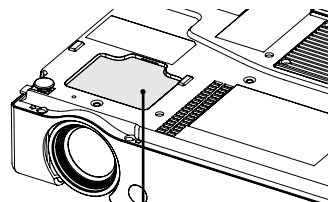
- ① 電源を切り、電源プラグを抜く**
 - 28ページの「電源を切る」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

- ② 本機を静かに裏返し、エアフィルターカバーを外す**



エアフィルターカバー

- ③ エアフィルターを交換し、エアフィルターカバーを取り付ける**



エアフィルター

お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

ランプの交換



- ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはブラストドライバーが必要です。

お知らせ

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
ランプユニット品番：ET-LAB30(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

ランプユニットの交換時期


ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は2 000時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2 000時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

2 000時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため約10分後、自動的に消灯します。

お知らせ

- この説明で記載している使用時間は、「本体設定」メニューの「ランプパワー」を「標準」で「映像調整」メニューの「AI」を「オフ」に設定して使用された場合の時間です。「ランプパワー」を「エコモード」または「AI」を「オン」に設定して使用されますと、長くランプを使用することができます。
- 2 000時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、72ページや保証書をご覧ください。

	<p>オンスクリーン表示</p> <p>ランプを交換してください。</p>	<p>ランプ(LAMP)モニター</p> 
1 800時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

ランプユニットの交換手順

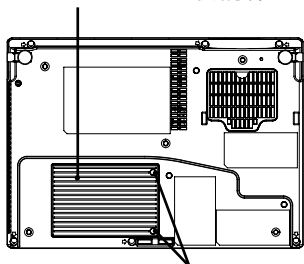
お願い

- ランプユニットの使用時間が2 000時間(「ランプパワー」を「標準」で「AI」を「オフ」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦～⑫の操作を10分以内に行ってください。

① 28ページの「電源を切る」の手順を守り、本機から電源プラグを抜いた後、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する

② 本機底面のランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーで回し、ランプユニット収納扉を外す

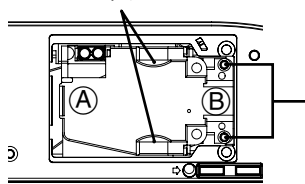
ランプユニット収納扉



ランプユニット収納扉固定ねじ

③ ランプユニットを固定しているねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す

ハンドル



ランプユニット固定ねじ

④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける

- 挿入時、特に④部と⑤部を押し込んでください。

- ⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お願い

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

- ⑥ 電源コードを接続する

- ⑦ 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する

お知らせ

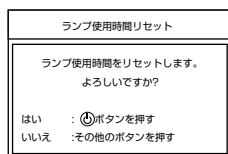
- 「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源コードを接続するだけで投写を開始します。(50ページ)

- ⑧ メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ボタンでカーソルを「本体設定」の項目へ移動する

- ⑨ エンター(ENTER)ボタンを押し、「本体設定」画面を表示させ、▲▼ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する

- ⑩ エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける

- 「ランプ使用時間リセット」の確認画面が表示されます。



お知らせ

- 電源(POWER)ボタン以外のボタンを押すとランプ使用時間リセット画面が消えます。

- ⑪ 電源(POWER)ボタンを押す

- ランプが消え映像の投写が停止し、電源ボタンが赤色に点灯したら、電源プラグを抜いてください。

- ⑫ ランプ使用時間が「0」にリセットされます

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	コンセントに電源がきていますか。	—
	温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。	57,58
	ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。	—
映像がでない	映像入力は正しく接続されていますか。	—
	入力選択の設定が正しくなっていますか。	30
	「明るさ」が最小になっていませんか。	41
	本機に接続している機器は正常に動作していますか。	—
	シャッター機能を使用していませんか。	32,52
映像がボヤけている	レンズカバーがかぶさったままではありませんか。	—
	レンズのフォーカスは合っていますか。	27
	投写距離は適切ですか。	19~20、70
	レンズが汚れていませんか。	—
	本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	19~20
色が薄い/ 色あいが悪い	「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	41
	本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
音が出ない	音声入力は正しく接続されていますか。	—
	音量調整が最小になっていませんか。	32,52
	音声出力(VARIABLE AUDIO OUT)端子に、ケーブルが接続されていませんか。	22~24
リモコンが働かない	電池が消耗していませんか。	—
	電池の極性は正しくセットされていますか。	25
	リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	25
	リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。	25
	蛍光灯などの影響を受けていませんか。	25
本体操作部のボタンが働かない	「本体ボタン操作」の設定が「無効」になっていませんか。「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合には、本体操作部のエンター(ENTER)ボタンを押しながらメニュー(MENU)ボタンを2秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。	51

症状	ここをお調べください	ページ
正常な映像が映らない	信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。	43
	ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。	—
	本機が対応できない信号を入力していませんか。	67
パソコンからの映像が映らない	ケーブルが長すぎませんか。	—
	ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)	71
	PC 入力(PC INPUT)モニターが消灯している場合は、パソコンから信号が出力されていないことが考えられます。	17
	パソコン2入力/パソコン1出力(PC2 IN/PC1 OUT)端子に信号を入力されている場合に、「本体設定」メニューの「PC2入出力選択」を「出力」に設定していませんか。	50

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

仕様

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力	300 W (リモコンスタンバイ時約2 W ただし、ファン停止時)	
液晶パネル	パネルサイズ	0.8 型 (アスペクト比4:3) マイクロレンズアレイ付き (TH-LB60NT) 0.7 型 (アスペクト比4:3) マイクロレンズアレイ付き (TH-LB55NT)
	表示方式	透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	786 432 画素 (1 024 × 768 ドット) × 3 枚
レンズ	マニュアルズーム (1.2 倍) ・フォーカスレンズ F 1.7 ~ 1.8、f 24.0 mm ~ 28.8 mm	
光源ランプ	220 W UHM ランプ	
光出力	3 200 lm (ランプパワー標準時) (TH-LB60NT) 2 500 lm (ランプパワー標準時) (TH-LB55NT)	
投写画面サイズ	33 型 ~ 300 型	
投写距離	1.1 m ~ 10.8 m (TH-LB60NT) 1.2 m ~ 12.0 m (TH-LB55NT)	
光軸シフト量	6 : 1 (固定) (TH-LB60NT) 9 : 1 (固定) (TH-LB55NT)	
画面アスペクト比	4 : 3	
投写方式	「フロント/床置き」「フロント/天吊り」「リア/床置き」「リア/天吊り」(メニュー設定方式)	
スピーカー	4 cm × 3 cm だ円型 1 個	
音声実用最大出力	1 W (モノラル)	
接続端子	PC 入力端子	2 系統 高密度 D-sub 15 ピン (メス) (1 系統のみ入出力の切り換え可能) RGB 入力/出力時 R、G、B: 0.7 V [p-p] 75 Ω G・SYNC: 1.0 V [p-p] 75 Ω HD: TTL 正/負極性自動対応 VD: TTL 正/負極性自動対応 YP _B PR 入力/出力時 Y: 1.0 V [p-p] (同期信号を含む) 75 Ω P _B PR: 0.7 V [p-p] 75 Ω
	ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4 ピン Y: 1.0 V [p-p] C: 0.286 V [p-p] 75 Ω
	音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms] 2 系統 M3 ジャック (ステレオミニピンジャック) 0.5 V [rms]
	音声出力端子	1 系統 M3 ジャック (ステレオミニピンジャック) (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)
	シリアル端子	DIN 8ピン RS-232C 準拠 パソコン制御用

その他

対応走査 周波数 (RGB 信 号時)	水平走査周波数	15 kHz ~91 kHz
	垂直走査周波数	50 Hz ~85 Hz
	ドットクロック 周波数	100 MHz 以下
YP _B Pr 信号		480i、576i、480p、576p、1 080/60i、1 080/50i、720/60p
カラー方式		7 方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)
無線LAN	準拠規格	IEEE802.11b/IEEE802.11g (無線LAN 標準プロトコル)
	使用無線チャ ンネル	IEEE802.11b/IEEE802.11g:1~13チャンネル
	通信距離	30 m (ただし、使用環境によって異なります)
電源コードの長さ		2.0 m
キャビネット		樹脂成型品 (PC/ABS)
外形寸法		横幅 327 mm 高さ 83 mm 奥行 233 mm (レンズカバー未装着時)
質量		2.6 kg
使用環境 条件	使用周囲温度	0℃~40℃ (ただし、51ページの「高地設定」を「オン」に設定し ている場合は、0℃~35℃)
	使用周囲湿度	20%~80% (結露のないこと)
リモコン	使用電源	DC 3 V (単4形乾電池2個)
	操作距離	約7 m (受光部正面)
	質量	74 g (電池含む)
	外形寸法	横幅 51.5 mm 高さ 123 mm 厚さ 21.1 mm
オプション	天つり金具	ET-PKB30
	フル機能 リモコン	ET-RM300
	シリアル端子 変換アダプター (DIN 8 ピン - D-sub 9 ピン)	ET-ADSER

※ 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003
データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基
づいています。

※ この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用
できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other
country.)

付録

対応信号リスト

対応信号	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2	リサイ ジング*3	フレーム ロック*4	フォー マット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)					
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	—	A	OK		S-Video/Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	—	A	OK		S-Video/Video
480i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	OK		RGB/YPbPr
576i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	OK		RGB/YPbPr
480p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	OK		RGB/YPbPr
576p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	OK		RGB/YPbPr
1 080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A			RGB/YPbPr
1 080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A			RGB/YPbPr
720/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	A			RGB/YPbPr
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	OK		RGB
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	OK		RGB
VGA480	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	OK		RGB
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	OK		RGB
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	OK		RGB
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	OK		RGB
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	OK		RGB
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	OK	OK	RGB
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	OK		RGB
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	OK		RGB
MAC16	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	OK		RGB
	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	OK		RGB
XGA	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA		OK	RGB
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA			RGB
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA			RGB
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA			RGB
	1 024 x 768i	35.5	87.0	44.9	AA			RGB
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A			RGB
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	B			RGB
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	B			RGB
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	B			RGB
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	B		OK	RGB
	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	B		OK	RGB
SXGA	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	B			RGB
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B			RGB
	1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	B		OK	RGB
SXGA+	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	B		OK	RGB
	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B		OK	RGB
UXGA60	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	A		OK	RGB
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	A		OK	RGB
	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A		OK	RGB

*1 解像度の後ろの "i" は、インターレース信号を示しています。

*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。

*3 「リサイジング」(P.47ページ)を設定できます。

*4 フレームロック機能に対応している信号です。(P.47ページ)

*5 CVT規格に準拠。

その他

シリアル端子について

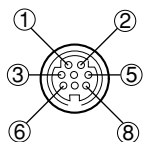
本機接続端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

接続



フェライトコア付きRS-232Cシリアル端子変換アダプターET-ADSERを必ず使用してください。

ピン配列と信号名



8ピン DIN (外側から見た図)

ピン NO.	信号名	内容
③	RXD	受信データ
④	GND	グラウンド
⑤	TXD	送信データ
①		内部で接続されています
②		
⑥		
⑦		NC
⑧		NC

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	コマンド	:	パラメーター	ETX
スタート (02h)	3 byte		1 byte-5 byte	エンド (03h)

お願い

- ランプ点灯開始後、約10秒間はコマンドを受信できませんので、必ず10秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から"ER401"というコマンドがパソコン側に送信されます。

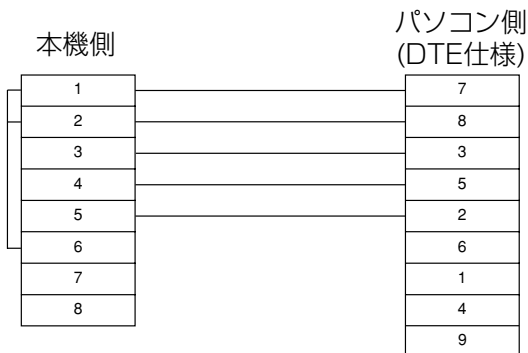
制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約30秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000(調整値0)～063(調整値63)
IIS	入力選択	パラメーター VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=PC1 RG2=PC2 NWP=WIRELESS
Q\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0=スタンバイ 1=ランプ点灯制御中 2=ランプ点灯 3=ランプ消灯制御中
OSH	シャッター機能	コマンドを送信するごとにオン／オフが切り換わります。短時間でのオン／オフの切り換えは行わないでください。 シャッター機能がオンの場合、「OSH」以外のコマンドを送信すると“ER401”というコマンドがパソコン側に送信され、シャッター機能がオフに切り換わります。

ケーブル仕様

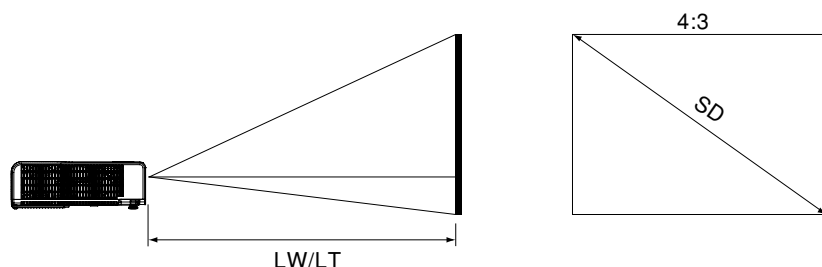
《パソコンと接続する場合》



その他

投写寸法の計算式

画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。



スクリーンが4:3の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

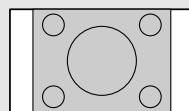
	TH-LB60NT	TH-LB55NT
最短投写距離	$LW=0.0303 \times SD - 0.044$	$LW=0.0337 \times SD - 0.044$
最長投写距離	$LT=0.0364 \times SD - 0.044$	$LT=0.0405 \times SD - 0.044$

スクリーンが16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

	TH-LB60NT	TH-LB55NT
最短投写距離	$LW=0.0331 \times SD - 0.044$	$LW=0.0369 \times SD - 0.044$
最長投写距離	$LT=0.0397 \times SD - 0.044$	$LT=0.0443 \times SD - 0.044$


お知らせ

- 上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- ワイド型のスクリーンで画面サイズ(16:9)の投写距離に設置しているとき、「位置調整」メニューの「アスペクト」を「4:3」に切替えると投写映像がスクリーンの上下にはみ出します。そのような場合は「アスペクト」を「S4:3」に設定ください。(P.46ページ)



PC接続時のヘルプ画面について

映像出力の切り換えコマンドについては下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド	メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic NEC	Fn + F3	DELL EPSON	Fn + F8
HP SHARP TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10
IBM SONY	Fn + F7	Apple	F7
		その他	Fn + 

お知らせ

- パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間。

ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

63ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



メモ

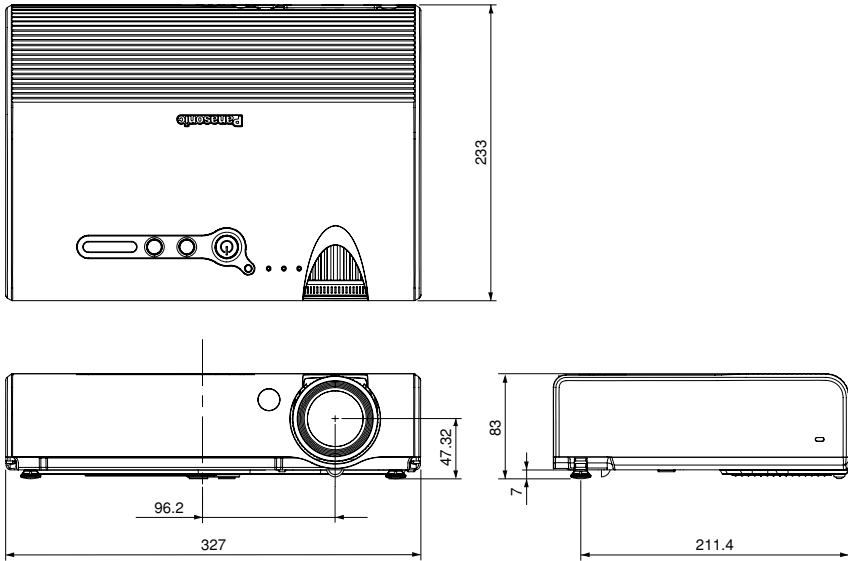
A large, empty rectangular box with rounded corners, designed for taking notes. It contains 20 horizontal lines spaced evenly down the page, providing a guide for writing.

A large rectangular area with rounded corners, containing 20 horizontal lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across most of the width of the page.

その他

外形寸法図

<単位：mm>



商標について

- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- オンスクリーンディスプレイに使用しているフォントは、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

SO306-0A

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 (06) 6901-1161